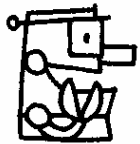


ほかの星は動くのに、北極星はなぜ動かないの

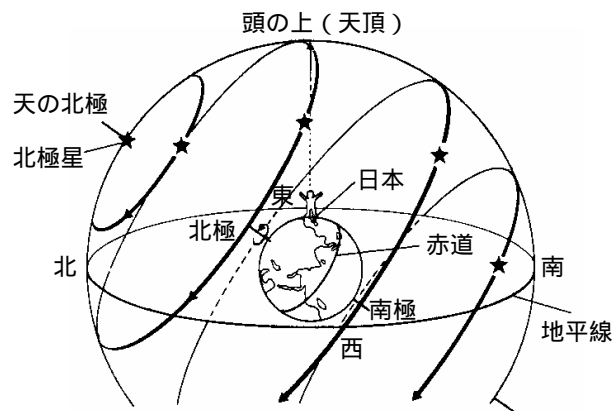


北極星を中心にして空全体が動いているように見えるから、中心の北極星は動かないように見えるのさ。

季節によって見える星座^{せいざ}がちがい、同じ日でも、観察する時刻^{じこく}によって星座の見える位置がちがうことから、星がいつも動いていることがわかります。ところが、北の空に見える北極星は、いつも、ほとんど動かないように見えます。北の星空を、30分ぐらいかけて写真にとると、星が北極星をほぼ中心に、円をえがいて動いているのがわかります。よく観察すると、まわる方向は、時計の針^{はり}とぎやく回りになっています。北の空以外の星座は、太陽や月と同じように、東から上って西にすすみます。南の空の高いところの星座は、地面と平行に動いているように見えます。

地球の回転じくが北極星の方向を指しているから、動かないように見える

星が動いて見えるのは、じつは地球が、こまのように回転しているからです。そして、その回転しているじくは、北極星の方向を指しています。かさのえを回してくるくる回転したとき、え(回転じく)は回転しますが、かさの位置は変わらないのと、よくにっています。そのため、北極星はいつも動かないように見え、北極星のまわりの星は、北極星を中心に円をえがくように動いて見えるのです。



< 地球と星座の動き >

もっと知りたい人へ：「星はなぜ動くの、方角により動き方がちがうのは、なぜなの」、「星は、1時間でどのくらい動くの」も見てみよう。